

第3回防災推進国民会議 議事要旨

1. 日時 平成29年12月8日（金） 11:04～11:18

2. 場所 官邸2階大ホール

3. 出席者 別紙1

4. 議事

(1) 開会

(2) 主催者挨拶（内閣総理大臣） 別紙2

(3) 議題

① 議長、副議長選出

② 防災推進国民会議のこれまでの活動について

③ 防災推進国民会議の今後の活動方針について

④ 構成団体等の取組について

1) 一般社団法人日本経済団体連合会

2) 社会福祉法人全国社会福祉協議会

(4) 閉会

5. 配布資料

資料1：防災推進国民会議 議員名簿

資料2：防災推進国民会議のこれまでの活動について

資料3：仙台ぼうさいこくたい憲章

資料4：防災推進国民会議の今後の活動方針について（案）

資料5：社会福祉法人全国社会福祉協議会資料

参考資料1：防災推進国民会議の開催について

参考資料2：防災推進国民会議の運営について

参考資料3：防災推進国民会議の活動報告

6. 議事概要

① 議長・副議長選出

議長・副議長を互選し、議長は近衛 忠輝 日本赤十字社社長、副議長は秋本 敏文 公益財団法人日本消防協会会長／一般財団法人日本防火・防災協会会長となった。

② 防災推進国民会議のこれまでの活動について

小此木大臣から資料2の通り報告された

③ 防災推進国民会議の今後の活動方針について

小此木大臣から説明があり、資料4の通り決定された

④ 構成団体等の取組について

一般社団法人日本経済団体連合会、社会福祉法人全国社会福祉協議会からそれぞれの取組等について報告があった。

以上

出席者（敬称略、議員の50音順）

議長 近衛 忠輝（日本赤十字社社長）
副議長 秋本 敏文（公益財団法人日本消防協会会長、
一般財団法人日本防火・防災協会会長）

青木 照護（公益社団法人日本青年会議所会頭）
阿部 一彦（日本障害フォーラム代表）
荒木 泰臣（全国町村会会長）
沖山 幸彦（一般社団法人日本民間放送連盟事務局長：井上弘議員代理）
上田 良一（日本放送協会会長）
山田 かおり（全国地域婦人団体連絡協議会事務局：柿沼トミ子議員代理）
小出 秀文（日本私立大学団体連合会事務局長：鎌田薫議員代理）
神津 里季生（日本労働組合総連合会会長）
郡 健二郎（一般社団法人公立大学協会会長）
横尾 敬介（公益社団法人経済同友会
副代表幹事・専務理事：小林喜光議員代理）
寺尾 徹（社会福祉法人全国社会福祉協議会常務理事：斎藤十朗議員代理）
山内 隆司（一般社団法人日本経済団体連合会
副会長・社会基盤強化委員長：榊原定征議員代理）
江端 康二（全国町村議会議長会事務総長：櫻井 正人議員代理）
前田 晃（公益財団法人日本財団専務理事：笹川陽平議員代理）
坂本 隆（一般社団法人日本雑誌協会専務理事：鹿谷史明議員代理）
西野 文章（一般社団法人日本新聞協会
専務理事・事務局長：白石興二郎議員代理）
田邊 俊治（全国市町村教育委員会連合会会長）
種村 明頼（全国連合小学校長会会長）
直田 益明（全日本中学校長会会長）
遠藤 勝裕（全国都道府県教育委員会連合会副会長：中井敬三議員代理）
東川 勝哉（公益社団法人日本PTA全国協議会会長）
福井 トシ子（公益社団法人日本看護協会会長）
堀 憲郎（公益社団法人日本歯科医師会会長）
和田 寿昭（日本生活協同組合連合会専務理事：本田英一議員代理）
立谷 秀清（全国市長会副会長：松浦正人議員代理）
丸山 康昭（公益社団法人全国子ども会連合会会長）
小栗 洋（全国高等学校長協会事務局長：宮本久也議員代理）
村上 研一（全国消防長会会長）
柳居 俊学（全国都道府県議会議長会会長）
山極 壽一（一般社団法人国立大学協会会長、
日本学術会議会長）
山田 一仁（全国市議会議長会会長）
古尾谷 光男（全国知事会事務総長：山田啓二議員代理）
山本 信夫（公益社団法人日本薬剤師会会長）
横倉 義武（公益社団法人日本医師会会長）
廣瀬 典昭（防災学術連携体代表幹事：和田章議員代理）

(別紙2)
安倍内閣総理大臣挨拶

第3回防災推進国民会議の開催に当たり、一言御挨拶申し上げます。

本年も、九州北部豪雨や先般の台風による豪雨災害を始め、様々な災害に見舞われました。改めて、災害でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

この国民会議の設立から2年、皆様方におかれましては、本国民会議の活動へ御協力いただき、厚く御礼申し上げます。

また、皆様方には、日頃から、事前対策、発災時の諸活動や被災者のケア、地域防災など、ソフト・ハード両面から様々な防災分野で御活躍いただいておりますこと、改めて感謝申し上げます。

我が国は、申し上げるまでもなく、地震や水害など様々な自然災害が繰り返し発生し、常にその脅威にさらされている災害大国であります。先人達は、過去の悲惨な経験から導き出された貴重な教訓から、災害に打ち克つ術を考え、災害とたたかい続けてまいりました。

その中で、我々が学んできたことは、公助・共助・自助の大切さです。政府や自治体が防災対策に全力を尽くすことは当然のことですが、それだけでは、災害に打ち克つことはできません。本国民会議に求められている役割は、皆様方の知識や経験を始め、防災に関する様々な知見を広く国民に共有していただき、国民の防災意識を総合的に高めること、また、それによって、国民一人一人が命を守るための行動をとることができるようにすることにあります。

先月、仙台で開催されました「防災推進国民大会 2017」においても、皆様方の御尽力により、多くの団体・組織の参加のもと、我が国の災害の教訓やそれに基づく今後の防災・減災の取組の方向性が、広く国内外に向けて発信されました。

皆様方が携わっておられるどの分野での取組も、国民の生命や財産を災害から守るために必要不可欠です。今後とも、各分野のリーダーである皆様の一層のご協力を賜りますようお願いし、私の挨拶とさせていただきます。

～ 以 上 ～